

海外ゲスト講演会 「西洋近代科学と中国の伝統思想——薬学・哲学・倫理学」を開催 武蔵大学総合研究機構・早稲田大学先端生命医科学センター共催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）総合研究機構は11月22日(水)に「西洋近代科学と中国の伝統思想——薬学・哲学・倫理学」を早稲田大学先端生命医科学センターと共催します。

中国からのゲスト講師として聶菲璘（ニエ・フェイリン）氏を迎え、本学の李天舒（リ・テンジョ）専任講師が司会を務めます。中国の伝統思想における健康、医と病に関する認識および実践に関する講演です。自然科学と人文を横断する内容で、一般の方も理解できるように構成されています。講演は中国語です（通訳あり）。ご関心のある方はぜひご参加ください。

概要

■日時 2023年11月22日(水) 16:30~18:00

(16:00 受付開始、対面・オンライン併用)

■場所 早稲田大学先端生命医科学センター/セミナールーム3

〒162-8480 東京都新宿区若松町2-2 ※交通アクセスについては下記をご覧ください。

<https://www.waseda.jp/top/access/twins>

会場に関するお問合せ先

早稲田大学先端生命医科学センター事務所 E-mail : advmed-info@list.waseda.jp

■お申込み方法

・早稲田大学関係者以外の方はセンター受付（守衛室）で海外ゲスト講演会の参加者であることを伝え入館してください（予約不要）。

・オンライン参加の方は下記よりお申込みください。後日 ID 等をお知らせします。

<https://www.musashi.ac.jp/sougou/news/d29irm0000000gin.html>

■講師：聶菲璘（ニエ・フェイリン）氏

中国伝統文化促進会《群書治要》伝承委員会副主任、博士（化学）、博士（倫理学）

北京大学で薬学・化学・生物学を学び、ケンブリッジ大学で博士（化学）の学位を得たあと、西洋近代科学の限界を自覚して哲学・倫理学の研究に転じた研究者です。

■司会：李天舒（リ・テンジョ）専任講師

本学専任講師、博士（理学・早稲田大学）

■通訳：安藤潤一郎 講師

本学講師

—内容等に関するお問合せ先—

武蔵大学総合研究機構 E-mail : cro@cc.musashi.ac.jp

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 増田・西（ますだ・にし） E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開校、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開校し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

